

# 木祖村 橋梁長寿命化修繕計画

令和 6 年 2 月  
令和 7 年 7 月 改訂

木 祖 村

## 目 次

1. 老朽化対策における基本的方針	1
1) 基本的な方針	
2) 長寿命化修繕計画の目的や対象施設	
3) 計画期間	
4) 管理施設数	
5) 健全性の判定区分の割合	
6) 修繕等措置の着手状況	
7) 対策の優先順位の考え方	
2. 新技術等の活用方針	9
1) 新技術等の活用に関する考え方	
2) 新技術等の活用に関する目標	
3. 費用の縮減に関する具体的な方針	10
1) 費用の縮減を図るための考え方	
2) 費用の縮減目標	
3) 集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針	
4. 諸元および点検結果	13
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期	15
6. 計画策定担当部署および意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	21

## 1. 老朽化対策における基本的方針

### 1) 基本的な方針

#### ①健全性の把握

国土交通省『定期点検要綱』に準じた定期点検を5年に1回を目途に実施することで、橋梁の損傷状況（耐荷性）を把握し、今後の修繕計画に反映させます。

定期点検の実施により、現状を把握しながら適切な時期に適切な修繕工事を実施することで、損傷の進行に起因する通行制限等が減少し、橋梁の安全性が向上するとともに、道路ネットワークの信頼性も確保させます。

#### ②日常的な維持管理

日常的な維持管理として、公用車により走行面の変状について点検を行います。また、以下のような小規模な維持作業は随時実施します。

- ・橋面の清掃、排水ますの清掃、堆積土の撤去等

#### ③維持管理手法

限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みとして、従来の“壊れたら直す”対症療法”から、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型”へと転換を図り、橋梁の寿命を延ばすことによってトータルコストの縮減を図ります。

また、橋梁の修繕に係る費用を予測して、予算の投資額を平準化した修繕計画を策定することで、厳しい予算制約の中で計画的な事業の実施を図ります。

## 2) 長寿命化修繕計画の目的や対象施設

### ①背景

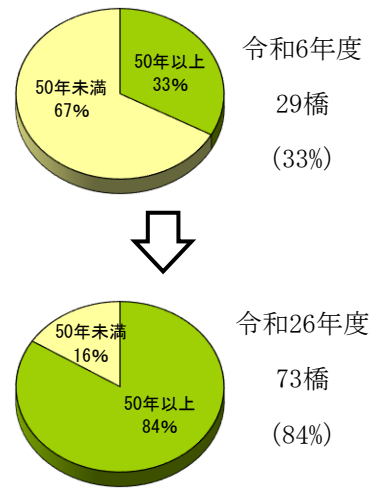
木祖村が管理する橋梁は、令和6年度現在で87橋架設されています。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は29橋で、橋梁全体の33%を占めています。なお20年後の令和26年には、その数が73橋となり全体に対して占める割合が84%程度まで増加し、急速に橋梁の高齢化が進行することが予想されます。

今後、これらの高齢化を迎える橋梁群に対し、従来の維持管理方法である対症療法型、いわゆる”壊れたら直す”の方法で維持管理を続けた場合には、橋梁の修繕や架替に要する費用が莫大となることが予想され、その結果一時的に多額の修繕予算を確保しなければならない状況を招くことが懸念されます。

更に予算確保が困難なことを理由に適切な時期の修繕を先送りにした場合には、劣化の進行により橋梁が通行不能に陥り、その結果地域交通網に多大な損害を与える恐れもあります。

対象橋梁87橋の高齢化の推移  
(現在→20年後)



### ②目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

そこで木祖村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

### ③対象施設

管理橋梁のうち、橋長 2.0 m 以上の鋼橋、コンクリート橋及び木橋の合計 87 橋を対象とします。

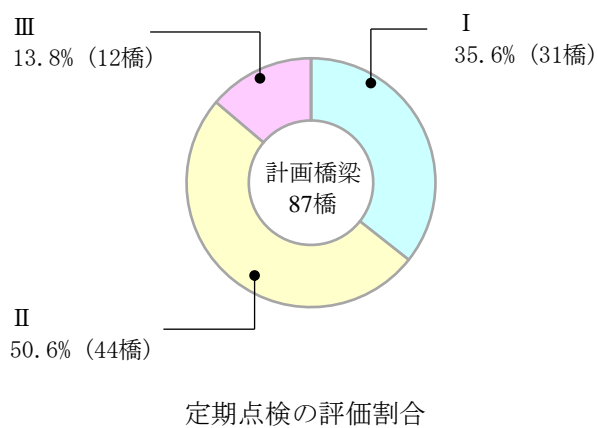
### 3) 計画期間

令和6年度（2024年度）から 令和10年度（2028年度）

### 4) 管理施設数

全管理橋梁数	87 橋
うち計画の対象橋梁数	87 橋
うちこれまでの計画策定橋梁数	88 橋
うち令和6年度計画策定橋梁数	87 橋

### 5) 健全性の判定区分の割合



判定	橋梁数
I	31 橋
II	44 橋
III	12 橋
IV	0 橋
計	87 橋

## 6) 修繕等措置の着手状況

修繕等の措置については優先順位、交通量等を考慮し順位の高い順に次回点検まで完了することを目標に対策を実施します。

### 【1巡目】

点検年度	対策数（Ⅲ、Ⅳ判定）	対策状況			
		着手数	着手率	完了数	完了率
H26					
H27	1				
H28	4	3	75%	3	75%
H29	1				
H30					
合計	6	3	50%	3	50%

### 【2巡目】

点検年度	対策数（Ⅲ、Ⅳ判定）	対策状況			
		着手数	着手率	完了数	完了率
R1					
R2	2	1	50%	1	50%
R3	8	6	75%	2	25%
R4	3				
R5					
合計	13	7	54%	3	23%

※H29の1橋とR4の2橋の内の1橋は同一の橋梁。現在通行止めで路線を廃止予定。

## 7) 対策の優先順位の考え方

### ①優先順位

優先順位は判定結果に基づいた耐荷性と橋梁ごとの重要度のそれぞれを下表に示すように、3つの区分に分類し、9つのカテゴリーに分類します。各カテゴリーに優先順位を1位～9位の間で設定します。

		重要度		
		60以上	30以上 ～60未満	30未満
耐荷性	30未満	1位	2位	4位
	30以上～60未満	3位	5位	6位
	60以上	7位	8位	9位

< 損傷度 >

はじめに、各部材の評価点に重み係数を乗じた各部材の損傷度を算出します。  
 その次に、各部材の損傷度を合計した径間ごとの損傷度を算出します。  
 各径間の損傷度のうち最大値を橋梁全体の損傷度とします。

◆点検結果に対する評価点

点検結果	評価点
I	0
II	20
III	60
IV	80

健全



◆部材項目に対する重み係数

部材項目	重み係数
上部工主部材	0.7
床版	0.7
下部工	0.4
支承	0.3
舗装	0.2
伸縮装置	0.1

(計算例)

部材項目		点検結果	評価点	重み係数	損傷度
1 径 間	主桁	II	20	0.7	14.0
	床版	II	20	0.7	14.0
	下部工	II	20	0.4	8.0
	支承	I	0	0.3	0.0
	舗装	III	60	0.2	12.0
	伸縮装置	III	60	0.1	6.0
1径間目の損傷度					54.0

2 径 間	主桁	III	60	0.7	42.0
	床版	II	20	0.7	14.0
	下部工	I	0	0.4	0.0
	支承	II	20	0.3	6.0
	舗装	II	20	0.2	4.0
	伸縮装置	I	0	0.1	0.0
2径間目の損傷度					66.0

橋梁全体の損傷度					66.0
----------	--	--	--	--	------

< 耐荷性 >

100から橋梁全体の損傷度を引いた値を耐荷性とします。  
 損傷度が100以上の場合には、耐荷性はゼロとします。

※ 橋の健全性を相対的に点数で判定したもので、強度を数値的に示したものではない。

(計算例)

橋梁全体の損傷度	66.0
耐荷性	34.0 ( 100 - 66.0 )

< 重要度 >

木祖村に適用する諸元項目を検討して、評価項目ごとに点数付けを行います。

その点数に重み係数を乗じて諸元重要度とします。諸元重要度の合計を橋梁ごとの重要度とします。

重要度 = $\Sigma$ ( 重み係数 × 評点 )
------------------------------

諸元項目	重み係数	評価項目	評点
橋長	0.20	15m以上	100
		5m以上15m未満	50
		5m未満	0
供用年	0.30	1950年未満	100
		1970年未満	70
		1990年未満	35
交差状況	0.30	道路	100
		鉄道	100
		河川	50
		その他、湖沼、開水路	35
迂回路の有無	0.20	無し	100
		有り	0

(計算例) 1965年に鉄道上に架けられた橋長20mの迂回路の有る橋梁の場合

諸元項目	重み係数	評価項目	評点	諸元重要度
橋長	0.20	15m以上	100	20.0
供用年	0.30	1970年未満	70	21.0
交差状況	0.30	鉄道	100	30.0
迂回路の有無	0.20	有り	0	0.0
合計 (橋梁ごとの重要度)				71.0

< 劣化曲線 >

劣化は全て下記の曲線式を基本として想定し、個別橋梁の修繕時期または架替時期を推測します。

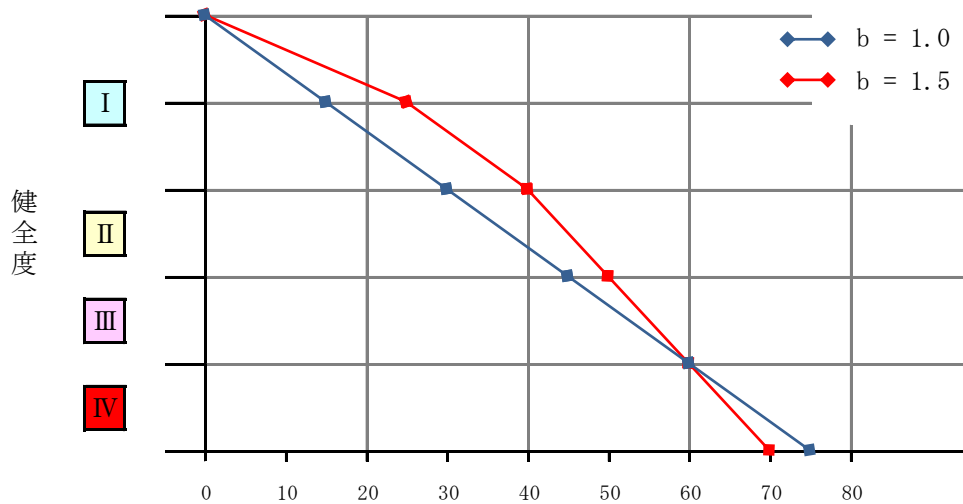
$$y = 5 - a * x^b$$

- ここで、  
 y : 健全度  
 x : 経過年  
 a : 劣化機構による係数 (管理限界に達する想定年数による係数)  
 b : 劣化進行加速度係数  $\geq 1.0$

上段：建設時からの経過年  $x = \{ (5-y) / a \}^{1/b}$

下段：健全度別滞留年数  $x = x_y - x_{(y+1)}$

IVに達する予想年数 (耐用年数 $x_E$ )	b	a	部材健全度					
			5	4	3	2	1	0
				$y \geq 4$	$4 > y \geq 3$	$3 > y \geq 2$	$2 > y \geq 1$	$1 > y$
60年	1.0	0.0667	0	15	30	45	60	75
60年	1.5	0.0086	0	24	38	50	60	70
				24	14	12	10	10



## 2. 新技術等の活用方針

### 1) 新技術等の活用に関する考え方

橋梁の修繕、更新、撤去の実施にあたっては、費用の縮減や事業の効率化などを図るための対策案の比較検討において、従来工法のみでなく新工法や新材料などの新技術等を加えた比較検討を実施します。

橋梁の点検にあたっては、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）、建設技術審査証明などを参考に、新技術の活用を検討し事業の効率化やコスト縮減を図ります。

### 2) 新技術等の活用に関する目標

令和6年度から修繕を行うすべての橋梁で新工法や新材料などの新技術を加えた比較検討を実施します。

点検では、対象橋梁87橋のうち、特に橋梁点検車及び高所作業車を使用した39橋（約45%）においては新技術の活用を重点的に検討し、令和10年度までの5年間で約50万円のコスト縮減を目指します。

点検車	36 橋
点検車(BT-400)	3 橋
梯子等	44 橋
JR渡架橋梁	4 橋
合計	87 橋

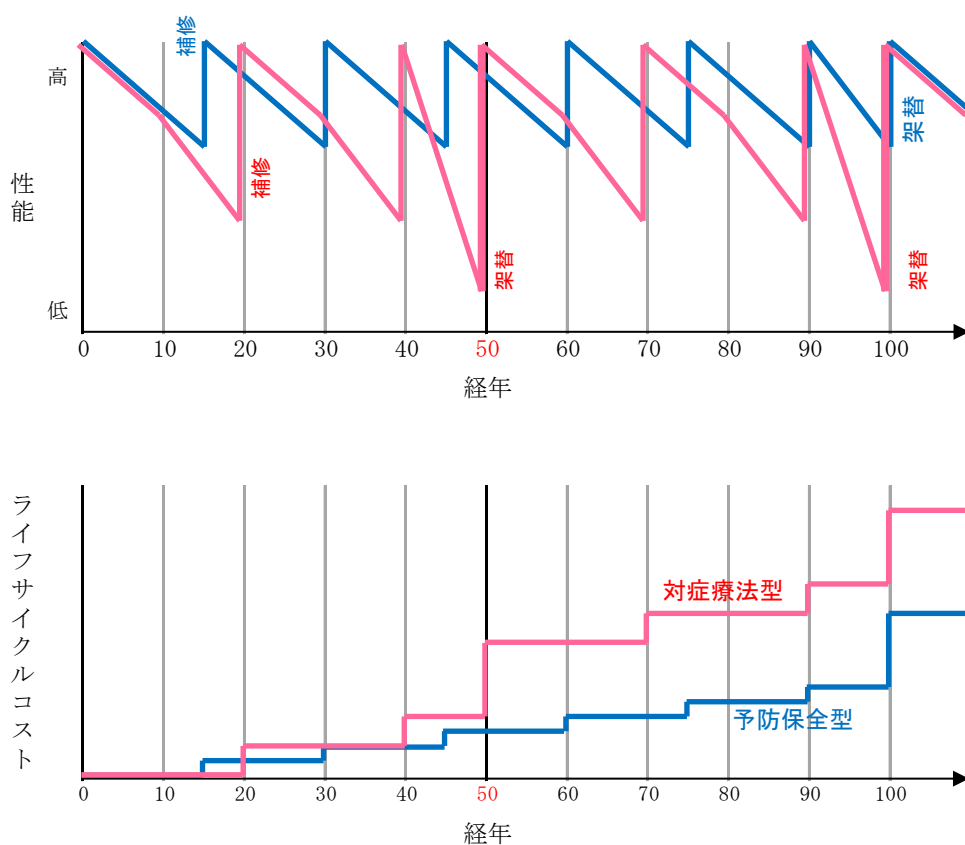
### 3. 費用の縮減に関する具体的な方針

#### 1) 費用の縮減を図るための考え方

木祖村が管理する橋梁の中で、20年後の令和26年には、建設後50年を経過する橋梁の割合が84%程度まで増加し、急速に橋梁の高齢化が進行することが予想されます。

これまでの橋梁施設の管理方法を対症療法型から予防保全型とし、橋梁の長寿命化を図り、架替費用を含めたトータルコストの縮減を図ります。

以下にそれぞれの維持管理手法における施設性能とライフサイクルコストのイメージを示します。



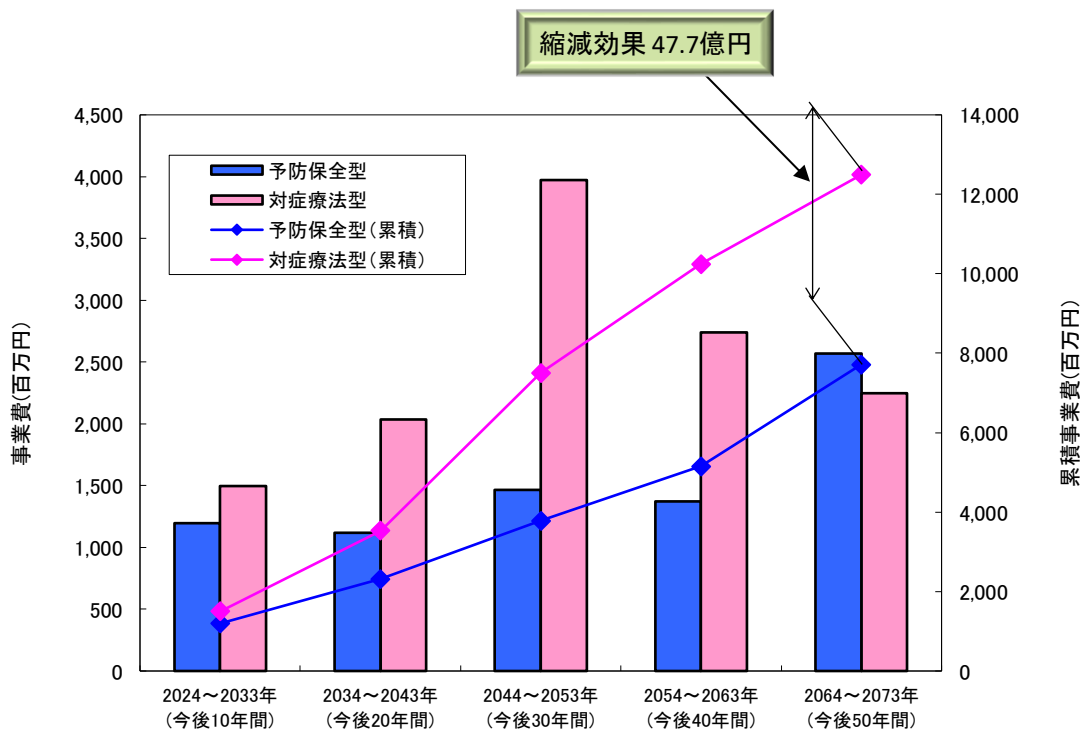
## 2) 費用の縮減目標

### ①直営点検による費用縮減

小規模橋梁については直営点検を行うことで令和10年までに約100万円のコスト縮減を目指します。

### ②予防保全型による費用縮減

対象橋梁87橋について、従来の対症療法型から予防保全型による長寿命化修繕計画を実施することによって、今後50年間で約47.7億円の縮減をめざします。



(億円)

	2024~2033年	2024~2033年	2024~2033年	2024~2033年	2024~2033年	累計
対症療法型	15.0	20.4	39.7	27.4	22.5	124.9
予防保全型	12.0	11.2	14.6	13.7	25.7	77.2
縮減効果	3.0	9.2	25.1	13.7	-3.2	47.7

### 3) 集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針

#### ①集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針

点検の結果、判定がⅣとなった場合、現状において通行止め等の措置がされているなど交通需要が極めて低く、近隣に迂回路（代替路）が存在し、地元合意が取れている等の橋梁については、維持管理費用の軽減を目的に集約化・撤去を検討します。

損傷状況や利用状況により撤去が効果的である橋梁は、健全性に大きな問題が生じた段階で撤去・廃止を実施します。

詳細検討の結果、架替が妥当と判断された橋梁については、可能な限りボックスカルバート等のプレキャスト製品の採用を検討し、維持管理の省力化・コスト縮減を図ります。

事情により集約化・撤去が困難である橋梁については、車道橋から歩道橋など機能の縮小を検討します。

#### ②集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する目標

利用者がいない、もしくは迂回路が存在し集約化・撤去が可能な橋梁について、令和10年度までに1橋の集約化・撤去を検討し、約10万円のコスト縮減を目指します。


#### 4. 諸元および点検結果


























番号	橋梁コード	橋名	橋長(m)	架設年次	径間数	上部構造	全体評価	耐荷性	重要度	優先順位	今後5年間の措置計画
1	001	吉田橋	39.7	1963	1	鋼鈹桁	Ⅲ	46	56	1 - 2	修繕
2	002	向吉田道路跨線橋	13.7	1984	1	プレテン床版	Ⅲ	50	51	3 - 2	修繕
3	005	藤掛橋	20.0	1996	1	プレテン床版	I	100	35	8 - 48	
4	006	野中沢1号橋	4.6	1981	1	BOXカルバート	Ⅱ	66	26	9 - 1	
5	007	地藏川橋	3.9	1971	1	BOXカルバート	I	100	26	9 - 6	
6	008	下村橋	17.1	1970	1	H型鋼	Ⅱ	64	46	8 - 1	
7	010	久保田橋	11.6	1970	1	RC床版橋	Ⅱ	86	36	8 - 28	
8	011	小林橋	8.7	1960	1	H型鋼	Ⅲ	0	46	4 - 1	修繕
9	012	矢坂橋	14.9	1991	1	プレテン床版	I	100	25	9 - 11	
10	013	神出橋	5.0	1964	1	RC T桁	Ⅱ	72	46	8 - 4	
11	014	宮沢橋	6.1	1984	1	H型鋼	Ⅱ	86	36	8 - 29	
12	015	神社橋	12.6	1994	1	H型鋼	I	100	25	9 - 12	
13	016	原村橋	14.1	1972	1	H型鋼	Ⅱ	66	36	8 - 9	
14	017	大川橋	11.4	1982	1	プレテン床版	Ⅱ	100	36	8 - 40	
15	019	栗屋橋	8.2	1980	1	RC床版橋	I	100	36	8 - 41	
16	020	清水原橋	6.9	2015	1	BOXカルバート	I	100	25	9 - 13	
17	023	大平1号橋	4.5	1970	1	RC床版橋	Ⅱ	86	26	9 - 3	
18	024	大平2号橋	3.7	1970	1	RC床版橋	I	100	26	9 - 7	
19	025	下橋	13.0	2005	1	プレテン床版	I	100	25	9 - 14	
20	027	屋敷橋	11.1	1973	1	RC床版橋	Ⅱ	92	36	8 - 34	
21	028	やな場橋	11.1	1983	1	RC床版橋	I	100	36	8 - 42	補修済
22	029	東橋	25.6	1977	1	ポステン中空床版	Ⅱ	96	46	8 - 14	
23	030	小垣外橋	25.0	1979	1	ポステン中空床版	Ⅱ	98	46	8 - 16	
24	031	栃木橋	28.2	1976	1	ポステン中空床版	I	100	46	8 - 22	補修済
25	032	下河原橋	14.0	1970	1	H型鋼	Ⅱ	84	36	8 - 27	
26	033	牧橋	17.7	1980	1	プレテン床版	Ⅲ	54	46	5 - 1	修繕
27	034	床並橋	8.6	1960	1	RC床版橋	Ⅱ	60	66	7 - 1	
28	035	細島橋	22.7	1967	1	H型鋼	Ⅲ	46	56	2 - 2	修繕
29	036	神明橋	16.7	1978	1	プレテンT桁	Ⅱ	96	46	8 - 15	
30	037	蒲沼橋	27.0	1973	1	ポステンT桁	Ⅲ	32	46	2 - 3	修繕
31	038	花の木橋	33.0	2014	1	鋼鈹桁	Ⅱ	86	35	8 - 33	
32	039	十王橋	20.5	1985	1	H型鋼	Ⅱ	66	46	8 - 3	
33	040	永谷大橋	24.3	1972	1	H型鋼	Ⅱ	58	46	5 - 2	
34	041	笹川橋	36.5	1982	2	ポステン中空床版	Ⅱ	84	46	8 - 8	
35	042	備勢橋	80.0	2001	3	ポステンT桁	Ⅱ	80	35	8 - 26	
36	043	塩沢橋梁	15.0	1965	1	H型鋼	Ⅲ	36	46	2 - 1	修繕
37	044	塩沢橋	9.4	1971	1	RC床版橋	Ⅱ	86	36	8 - 30	
38	045	塩沢峠橋	13.7	1954	1	プレテン床版	Ⅲ	78	81	3 - 1	修繕
39	047	大橋	3.7	1965	1	RC床版橋	I	100	36	8 - 39	
40	048	葛沢橋	4.5	1962	1	RC床版橋	Ⅱ	78	36	8 - 19	
41	049	倉箆橋	46.8	1971	2	ポステン中空床版	Ⅱ	86	46	8 - 10	補修済
42	050	蕨沢橋	5.7	1965	1	RC T桁	Ⅲ	58	46	4 - 2	修繕
43	051	蕨沢2号橋	5.4	1965	1	RC床版橋	I	100	46	8 - 20	
44	052	犀勝橋	9.1	1965	1	RC床版橋	Ⅲ	50	46	3 - 3	補修済
45	053	わる沢2号橋	7.5	1965	1	RC床版橋	I	100	66	7 - 7	
46	054	東町裏ノ橋	11.0	1968	1	H型鋼	Ⅱ	86	61	7 - 6	補修済
47	055	仏沢二号橋	6.5	1985	1	RC床版橋	Ⅱ	100	36	8 - 43	
48	056	仏沢一号橋	5.5	1985	1	RC床版橋	I	100	36	8 - 44	
49	057	なぎの沢橋	4.5	1988	1	BOXカルバート	I	100	26	9 - 8	
50	058	カルト沢2号橋	5.0	1975	1	RC床版橋	Ⅱ	86	36	8 - 31	
51	059	翁像橋	4.6	1979	1	RC床版橋	Ⅱ	88	26	9 - 4	
52	061	小沢橋	6.5	1970	1	RC床版橋	I	100	36	8 - 45	
53	062	うるし沢橋	5.5	1965	1	RC床版橋	Ⅱ	92	46	8 - 12	


番号	橋梁 コード	橋名	橋長 (m)	架設 年次	径間 数	上部構造	全体 評価	耐 荷 性	重 要 度	優 先 順 位	今後5年間の 措置計画
54	063	小木曾神社橋	2.0	1985	1	R C床版橋	I	100	26	9 - 9	
55	064	大柳沢橋	6.1	2000	1	H型鋼	II	94	25	9 - 5	
56	067	野中沢 2号橋	2.9	1981	1	B O Xカルバート	II	66	26	9 - 2	
57	068	奥峰橋	15.0	1983	1	プレテンT桁	II	98	46	8 - 17	
58	069	スキー場 1号橋	7.6	1982	1	R C床版橋	II	80	36	8 - 25	
59	070	スキー場 2号橋	6.8	1982	1	R C床版橋	I	100	36	8 - 46	
60	071	スキー場 3号橋	4.3	1982	1	R C床版橋	I	100	46	8 - 23	
61	080	湯の沢橋	9.5	1965	1	R C床版橋	I	100	46	8 - 21	補修済
62	081	宮前橋	11.8	1992	1	プレテン床版	I	100	25	9 - 15	
63	082	蒔の洞橋	16.0	1992	1	プレテン床版	I	100	35	8 - 49	
64	083	神戸平橋	44.0	1980	1	鋼鈹桁	II	70	61	7 - 4	
65	084	菅橋	56.5	1993	2	ポステンT桁	I	100	35	8 - 50	
66	085	菅川橋	19.5	2022	1	鋼鈹桁	II	92	35	8 - 36	補修済
67	087	奥峰 3号橋	10.5	1994	1	プレテン床版	I	100	25	9 - 16	
68	088	塩沢大橋	99.2	1983	3	鋼箱桁	III	22	61	1 - 1	修繕
69	089	寺の沢橋	20.7	1985	1	プレテンT桁	I	100	46	8 - 24	
70	090	小本沢橋	9.5	1983	1	プレテン床版	II	92	36	8 - 35	
71	091	大本沢橋	40.0	1985	1	鋼箱桁	II	78	46	8 - 6	
72	092	至沢橋	19.0	1986	1	プレテン床版	II	92	46	8 - 13	
73	093	西山大橋	34.9	1984	1	鋼鈹桁	II	64	61	7 - 3	
74	094	うるし沢 2号橋	7.4	1984	1	プレテン床版	I	100	36	8 - 47	
75	095	差渡橋	33.8	1986	1	鋼鈹桁	II	72	46	8 - 5	
76	096	蒔戸橋	20.1	1995	1	プレテン床版	I	100	35	8 - 51	
77	097	野中橋	16.8	1995	1	プレテン床版	II	96	35	8 - 38	
78	098	向村橋	23.8	1997	1	ポステン中空床版	I	100	35	8 - 52	
79	099	木山沢上橋	2.3	1985	1	B O Xカルバート	I	100	26	9 - 10	
80	100	池の沢橋	7.8	1996	1	R C床版橋	I	100	25	9 - 17	
81	101	権現橋	19.8	2001	1	プレテン床版	II	92	35	8 - 37	
82	102	羽黒沢橋	87.6	1986	3	鋼鈹桁	II	64	46	8 - 2	
83	103	尾骨沢橋	50.7	1985	1	鋼トラス	II	98	46	8 - 18	
84	104	奥木曾湖 1号橋	16.4	1985	1	プレテンT桁	I	100	41	8 - 32	
85	105	奥木曾湖 2号橋	13.9	1985	1	プレテン床版	III	62	36	8 - 7	修繕
86	106	奥木曾大橋	184.3	1988	3	鋼アーチ	II	80	41	8 - 11	
87	107	大洞橋	55.0	1979	2	ポステンT桁	II	90	66	7 - 5	











※修繕、更新、集約化、撤去、監視などいずれかの主な措置内容については、  
令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）の5年間の計画を示す。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：  対策を実施すべき時期を示す。

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	有効幅員(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期														
								R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15					
001	吉田橋	村道 吉田線	39.7	3.5	1963	61	R3				点検							点検				
002	向吉田道路跨線橋	村道 吉田線	13.7	3.6	1984	40	R3				点検							点検				
005	藤掛橋	村道 菅線	20.0	9.3	1996	28	R3				点検							点検				
006	野中沢1号橋	村道 野中原線	4.6	4.3	1981	43	R2			点検							点検					
007	地藏川橋	村道 菅線	3.9	7.4	1971	53	R2			点検							点検					
008	下村橋	村道 野中久保田線	17.1	5.0	1970	54	R2			点検						点検						
010	久保田橋	村道 久保田部落線	11.6	4.1	1970	54	R4				点検							点検				
011	小林橋	村道 田屋宮沢線	8.7	4.0	1960	64	R4											点検				
012	矢坂橋	村道 菅線	14.9	7.0	1991	33	R3				点検							点検				
013	神出橋	村道 神出線	5.0	4.3	1964	60	R2			点検							点検					
014	宮沢橋	村道 田屋宮沢線	6.1	4.0	1984	40	R2			点検						点検						
015	神社橋	村道 菅神社線	12.6	2.5	1994	30	R2			点検							点検					
016	原村橋	村道 神出線	14.1	5.2	1972	52	R3				点検							点検				
017	大川橋	村道 岩淵栗屋線	11.4	4.0	1982	42	R4				点検							点検				
019	栗屋橋	村道 栗屋部落線	8.2	5.0	1980	44	R2			点検							点検					
020	清水原橋	村道 清水開拓大平線	6.9	4.1	2015	9	R2			点検							点検					
023	大平1号橋	村道 菅線	4.5	8.6	1970	54	R2			点検							点検					
024	大平2号橋	村道 菅線	3.7	7.6	1970	54	R2			点検							点検					
025	下橋	村道 辺見西山線	13.0	4.0	2005	19	R2			点検							点検					
027	屋敷橋	村道 菅線	11.1	7.0	1973	51	R3				点検							点検				
028	やな場橋	村道 五月日西山線	11.1	4.1	1983	41	R2			点検							点検					
029	東橋	村道 大久保線	25.6	4.0	1977	47	R3				点検											
030	小垣外橋	村道 大久保線	25.0	4.0	1979	45	R3				点検							点検				
031	栃木橋	村道 斧の沢部落線	28.2	4.6	1976	48	R4				点検							点検				
032	下河原橋	村道 寺平斧の沢線	14.0	4.0	1970	54	R3				点検							点検				
033	牧橋	村道 奈良の平線	17.7	4.0	1980	44	R3				点検							点検				
034	床並橋	村道 奈良の平線	8.6	4.9	1960	64	R4					点検										
035	細島橋	村道 細島部落線	22.7	4.0	1967	57	R3				点検							点検				
036	神明橋	村道 細島部落線	16.7	3.0	1978	46	R3				点検											
037	蒲沼橋	村道 神出田上線	27.0	4.0	1973	51	R3											点検				
038	花の木橋	村道 花の木ねぎや線	33.0	9.8	2014	10	R4				点検								点検			
039	十王橋	村道 十王上村線	20.5	6.6	1985	39	R3				点検							点検				
040	永谷大橋	村道 飯米原線	24.3	6.4	1972	52	R3				点検							点検				
041	笹川橋	村道 花の木ねぎや線	36.5	8.3	1982	42	R3				点検							点検				
042	備勢橋	村道 塩沢線	80.0	10.0	2001	23	R4					点検							点検			
043	塩沢橋梁	村道 味噌川線	15.0	7.2	1965	59	R3				点検								点検			
044	塩沢橋	村道 塩沢部落二号線	9.4	3.0	1971	53	R2			点検								点検				
045	塩沢峠橋	村道 塩沢峠線	13.7	2.0	1954	70	R3											点検				
047	大橋	村道 鳥居峠線	3.7	4.0	1965	59	R4					点検							点検			
048	葛沢橋	村道 藪原町並線	4.5	5.2	1962	62	R4					点検							点検			
049	倉箆橋	村道 小学校線	46.8	6.8	1971	53	R3				点検							点検				
050	藪沢橋	村道 藪原町並線	5.7	5.5	1965	59	R4					点検						点検				
051	藪沢2号橋	村道 藪原駅裏線	5.4	7.1	1965	59	R4					点検							点検			
052	犀勝橋	村道 藪原町並線	9.1	5.4	1965	59	R2			点検						点検						
053	わる沢2号橋	村道 大洞線	7.5	4.0	1965	59	R4					点検							点検			
054	東町裏ノ橋	村道 東町裏線	11.0	2.0	1968	56	R3				点検							点検				
055	仏沢二号橋	村道 吉田部落線	6.5	3.7	1985	39	R2			点検								点検				
056	仏沢一号橋	村道 吉田川端線	5.5	3.6	1985	39	R2			点検								点検				
057	なぎの沢橋	村道 菅線	4.5	7.1	1988	36	R2			点検								点検				
058	カルト沢2号橋	村道 寺平斧の沢線	5.0	3.5	1975	49	R2			点検								点検				
059	翁像橋	村道 わら翁像線	4.6	3.0	1979	45	R2			点検								点検				
061	小沢橋	村道 向川線	6.5	3.7	1970	54	R2			点検								点検				
062	うるし沢橋	村道 大久保線	5.5	6.7	1965	59	R2			点検								点検				

凡例：  対策を実施すべき時期を示す。

橋梁 番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対策の内容・時期													
								R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15				
063	小木曾神社橋	村道 小木曾神社線	2.0	3.0	1985	39	R2		点検						点検						
064	大柳沢橋	村道 蒲沼線	6.1	3.0	2000	24	R2		点検						点検						
067	野中沢2号橋	村道 野中沢線	2.9	4.3	1981	43	R2		点検						点検						
068	奥峰橋	村道 辺見スキー場線	15.0	6.5	1983	41	R3			点検						点検					
069	スキー場1号橋	村道 奥峰リゾート線	7.6	4.5	1982	42	R2		点検						点検						
070	スキー場2号橋	村道 岩岳線	6.8	5.0	1982	42	R2		点検						点検						
071	スキー場3号橋	村道 岩岳線	4.3	5.5	1982	42	R2		点検						点検						
080	湯の沢橋	村道 菅線	9.5	8.2	1965	59	R3			点検						点検					
081	宮前橋	村道 菅線	11.8	7.0	1992	32	R2		点検						点検						
082	蒔の洞橋	村道 菅線	16.0	7.0	1992	32	R3			点検						点検					
083	神戸平橋	村道 菅線	44.0	11.0	1980	44	R3			点検							点検				
084	菅橋	村道 菅線	56.5	9.3	1993	31	R3			点検						点検					
085	菅川橋	村道 菅線	19.5	9.7	2022	2	R4				点検								点検		
087	奥峰3号橋	村道 奥峰3号線	10.5	5.5	1994	30	R4				点検								点検		
088	塩沢大橋	村道 奥木曾1号線	99.2	6.5	1983	41	R3			点検							点検				
089	寺の沢橋	村道 奥木曾1号線	20.7	9.2	1985	39	R4				点検								点検		
090	小本沢橋	村道 奥木曾1号線	9.5	9.2	1983	41	R4				点検								点検		
091	大本沢橋	村道 奥木曾1号線	40.0	9.0	1985	39	R4				点検								点検		
092	至沢橋	村道 奥木曾1号線	19.0	8.5	1986	38	R4				点検								点検		
093	西山大橋	村道 奥木曾2号線	34.9	7.5	1984	40	R3				点検					点検					
094	うるし沢2号橋	村道 奥木曾2号線	7.4	7.7	1984	40	R4				点検								点検		
095	差渡橋	村道 奥木曾2号線	33.8	7.5	1986	38	R4				点検								点検		
096	蒔戸橋	村道 菅線	20.1	8.0	1995	29	R3				点検								点検		
097	野中橋	村道 菅線	16.8	7.0	1995	29	R3				点検								点検		
098	向村橋	村道 菅線	23.8	8.2	1997	27	R3				点検								点検		
099	木山沢上橋	村道 栗屋線	2.3	4.0	1985	39	R2			点検					点検						
100	池の沢橋	村道 向吉田線	7.8	3.0	1996	28	R2			点検					点検						
101	権現橋	村道 細島部落線	19.8	5.0	2001	23	R3				点検								点検		
102	羽黒沢橋	村道 奥木曾1号線	87.6	5.5	1986	38	R4				点検									点検	
103	尾骨沢橋	村道 奥木曾1号線	50.7	5.3	1985	39	R4				点検								点検		
104	奥木曾湖1号橋	村道 奥木曾1号線	16.4	2.6	1985	39	R4				点検								点検		
105	奥木曾湖2号橋	村道 奥木曾1号線	13.9	5.5	1985	39	R4				点検								点検		
106	奥木曾大橋	村道 奥木曾1号線	184.3	5.1	1988	36	R4				点検								点検		
107	大洞橋	村道 大洞線	55.0	4.0	1979	45	R3				点検							点検			
合 計 (百万円)								152	89	114	104	117	85	113	91	91	229				

※1 架設年度及び供用年数は推定値を含みます。

※2 : 対象の内容・時期については、実施設計や財政状況等により予告なしに変更することがあります。

4) 緊急対策費用

■緊急対策費

(設計委託費, JR特別作業費, 足場費用, 消費税含まず)

橋梁 コード	橋 名	橋長 (m)	橋種	架設 年次	径 間 数	部材評価												全 体 評 価	優 先 順 位	補 修 費 (千円)	2024年					備 考
						主 桁	横 桁	床 版	下 部 工 1	下 部 工 2	支 承	舗 装	伸 縮	高 欄	地 覆	排 水	そ の 他				2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
																					R6	R7	R8	R9	R10	
088	塩沢大橋	99.2	鋼	1983	3	III	III	II	I	II	I	III	II	I	III	II	-	III	1-1	105,000	80,000		25,000			JR予定
001	吉田橋	39.7	鋼	1963	1	II	I	II	I	II	II	III	I	I	I	I	-	III	1-2	14,000	14,000				補修設計済	
043	塩沢橋梁	15.0	鋼	1965	1	III	I	II	II	I	I	I	I	I	I	-	III	2-1	14,000	14,000				補修設計済		
035	細島橋	22.7	鋼	1967	1	II	I	II	I	II	III	I	I	I	II	II	-	III	2-2	12,000	12,000				補修設計済	
037	蒲沼橋	27.0	PC	1973	1	III	III	II	I	II	I	II	I	I	I	I	-	III	2-3	35,000		35,000			補修設計済	
045	塩沢峠橋	13.7	PC	1954	1	II	I	I	II	II	I	I	I	I	III	I	-	III	3-1	15,000		15,000			JR予定	
002	向吉田道路跨線橋	13.7	PC	1984	1	III	I	I	II	I	I	I	I	I	I	II	-	III	3-2	20,000		20,000			JR予定	
052	犀勝橋	9.1	RC	1965	1	III	-	-	II	II	I	I	I	I	II	I	I	III	3-3	0					補修済み	
011	小林橋	8.7	鋼	1960	1	III	I	III	I	I	III	I	II	I	I	I	-	III	4-1	15,000		5,000	10,000		補修設計未	
050	藪沢橋	5.7	RC	1965	1	III	-	I	I	I	I	I	I	I	I	II	-	III	4-2	15,000			15,000		補修設計未	
033	牧橋	17.7	PC	1980	1	III	I	I	I	I	I	II	I	I	I	II	-	III	5-1	40,000			40,000		補修設計済	
105	奥木曾湖2号橋	13.9	PC	1985	1	I	I	II	III	III	I	I	I	I	I	I	-	III	8-7	40,000				40,000	補修設計未	
事業費計																			325,000	120,000	35,000	65,000	65,000	40,000		

※対象の内容・時期については、実施設計や財政状況等により、順位他予告なしに変更することがあります。

※補修工事は、補修設計済を優先して行う。

■維持対応橋梁

(維持工事で対応)

橋梁 コード	橋 名	橋長 (m)	橋種	架設 年次	径 間 数	部材評価												全 体 評 価	優 先 順 位	補 修 費 (千円)	2024年					備 考
						主 桁	横 桁	床 版	下 部 工 1	下 部 工 2	支 承	舗 装	伸 縮	高 欄	地 覆	排 水	そ の 他				2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
																					R6	R7	R8	R9	R10	
030	小垣外橋	25.0	PC	1979	1	I	I	I	I	I	I	II	I	I	III	-	II	8-16							高欄部材取替	
069	スキー場1号橋	7.6	RC	1982	1	I	-	-	II	II	I	III	I	I	I	I	-	II	8-25						下部工背面の凹凸	
042	備勢橋	80.0	PC	2001	3	I	II	I	I	I	II	III	II	I	I	II	-	II	8-26						下部工背面の凹凸	
006	野中沢1号橋	4.6	BOX	1981	1	II	-	-	II	II	-	III	-	I	I	-	-	II	9-1						下部工背面の凹凸	
067	野中沢2号橋	2.9	BOX	1981	1	II	-	-	II	II	-	III	-	I	I	-	-	II	9-2						下部工背面の凹凸	
059	翁像橋	4.6	RC	1979	1	I	-	-	I	I	I	III	I	I	I	-	-	II	9-4						下部工背面の凹凸	
事業費計																										

(参考)

橋梁 コード	橋 名	橋長 (m)	橋種	架設 年次	径 間 数	部材評価												全 体 評 価	優 先 順 位	補 修 費 (千円)	2024年					備 考
						主 桁	横 桁	床 版	下 部 工 1	下 部 工 2	支 承	舗 装	伸 縮	高 欄	地 覆	排 水	そ の 他				2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
																					R6	R7	R8	R9	R10	
086	押出橋	10.7	RC	1962	1	I	I	II	III	III	I	I	I	I	III	II	-	III							廃道-除外	
028	やな場橋	11.1	RC	1983	1	I	-	-	I	I	I	I	I	I	I	I	-	I	8-42	0						補修済み
054	東町裏ノ橋	11.0	鋼	1968	1	II	I	I	I	I	I	I	I	I	-	-	-	II	7-6	0						補修済み
080	湯の沢橋	9.5	RC	1965	1	I	-	-	I	I	I	I	I	I	I	I	-	I	8-21	0						補修済み

■事業計画一覧

橋梁コード 予防保全型 橋梁コード 使い切り型 橋梁コード 早期補修型 橋梁コード 早期架替型

橋梁コード	橋名	橋長(m)	全長(m)	耐用性	重要度	優先順位	事業費(千円)										工法
							2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14	2033年 R15	
001	吉田橋	39.7	III	46	56	1-2	14,000		400					400			主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:金属溶射&モルタル補修、舗装:打換(R6)、全体:更新(R15)
002	向吉田道路跨線橋	13.7	III	50	51	3-2			22,360					2,360			主部材:含侵&注入&断面修復&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R10)
005	藤掛橋	20.0	I	100	35	8-48			400				400				
006	野中沢1号橋	4.6	II	66	26	9-1		210				210					維持対応(舗装:打替) 主部材:含侵&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R15)
007	地藏川橋	3.9	I	100	26	9-6		240				240					
008	下村橋	17.1	II	64	46	8-1		300				300					主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R11)
010	久保田橋	11.6	II	86	36	8-28				260					260		
011	小林橋	8.7	III	0	46	4-1			5,000	10,240					240		主部材:1種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&上面増厚&吊足場、支承:取替(R9)、全体:更新(R12)
012	矢坂橋	14.9	I	100	25	9-11			330					330			
013	神出橋	5.0	II	72	46	8-4		210				210					横桁:含侵&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
014	宮沢橋	6.1	II	86	36	8-29		240				240					主部材:3種ケレン&塗装&吊足場(R11)
015	神社橋	12.6	I	100	25	9-12		260				260					
016	原村橋	14.1	II	66	36	8-9			340				340				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、支承:金属溶射&モルタル補修(R12)
017	大川橋	11.4	II	100	36	8-40			330					330			
019	栗屋橋	8.2	I	100	36	8-41		240				240					
020	清水原橋	6.9	I	100	25	9-13		240				240					
023	大平1号橋	4.5	II	86	26	9-3		240				240					
024	大平2号橋	3.7	I	100	26	9-7		240				240					
025	下橋	13.0	I	100	25	9-14		330				330					
027	屋敷橋	11.1	II	92	36	8-34			300				300				下部工:含侵&断面修復&足場(R15)
028	やな場橋	11.1	I	100	36	8-42		260				260					
029	東橋	25.6	II	96	46	8-14			330				330				舗装:打換(R13)
030	小垣外橋	25.0	II	98	46	8-16			330				330				維持対応(排水補修)
031	栃木橋	28.2	I	100	46	8-22			400					400			
032	下河原橋	14.0	II	84	36	8-27		330					330				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場(R15)
033	牧橋	17.7	III	54	46	5-1		340	40,000				340				主部材:含侵&注入&断面修復&吊足場(R9)
034	床並橋	8.6	II	60	66	7-1			240					240			主部材:含侵&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
035	細島橋	22.7	III	46	56	2-2	12,000		390				390				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:取替(R7)
036	神明橋	16.7	II	96	46	8-15			330				330				舗装:打換(R13)
037	蒲沼橋	27.0	III	32	46	2-3		35,000	330				330				主部材:含侵&注入&断面修復&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R8)
038	花の木橋	33.0	II	86	35	8-33			460					460			
039	十王橋	20.5	II	66	46	8-3			390				390				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、支承:金属溶射&モルタル補修(R11)
040	永谷大橋	24.3	II	58	46	5-2			400				400				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:金属溶射&モルタル補修(R11)
041	笹川橋	36.5	II	84	46	8-8			460				460				
042	備勢橋	80.0	II	80	35	8-26			490					490			維持対応(舗装:打替)
043	塩沢橋梁	15.0	III	36	46	2-1	14,000		390				390				主部材:1種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R6)
044	塩沢橋	9.4	II	86	36	8-30		250				250					
045	塩沢峠橋	13.7	III	78	81	3-1			17,450				2,450				主部材:含侵&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R8)
047	大橋	3.7	I	100	36	8-39			200				200				
048	葛沢橋	4.5	II	78	36	8-19			240				240				
049	倉箆橋	46.8	II	86	46	8-10			460				460				
050	藪沢橋	5.7	III	58	46	4-2			15,240					240			主部材:含侵&注入&断面修復&吊足場(R11)
051	藪沢2号橋	5.4	I	100	46	8-20			240				240				
052	犀勝橋	9.1	III	50	46	3-3		310				310					主部材:含侵&注入&断面修復&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R11)
053	わる沢2号橋	7.5	I	100	66	7-7			240				240				
054	東町裏ノ橋	11.0	II	86	61	7-6			230				230				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場(R11)
055	仏沢2号橋	6.5	II	100	36	8-43		240				240					
056	仏沢1号橋	5.5	I	100	36	8-44		240				240					
057	なぎの沢橋	4.5	I	100	26	9-8		240				240					
058	カルト沢2号橋	5.0	II	86	36	8-31		200				200					
059	翁像橋	4.6	II	88	26	9-4		200				200					維持対応(舗装:打替)
061	小沢橋	6.5	I	100	36	8-45		240				240					
062	うるし沢橋	5.5	II	92	46	8-12		240				240					下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
063	小木曾神社橋	2.0	I	100	26	9-9		200				200					
064	大柳沢橋	6.1	II	94	25	9-5		200				200					
067	野中沢2号橋	2.9	II	66	26	9-2		200				200					維持対応(舗装:打替)
068	奥峰橋	15.0	II	98	46	8-17			390				390				
069	スキー場1号橋	7.6	II	80	36	8-25		240				240					維持対応(舗装:打替) 下部工:含侵&断面修復&足場(R15)
070	スキー場2号橋	6.8	I	100	36	8-46		300				300					
071	スキー場3号橋	4.3	I	100	46	8-23		240				240					
080	湯の沢橋	9.5	I	100	46	8-21		270				270					
081	宮前橋	11.8	I	100	25	9-15		300				300					
082	時の洞橋	16.0	I	100	35	8-49			330				330				
083	神戸平橋	44.0	II	70	61	7-4			3,180				3,180				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:金属溶射&モルタル補修(R13)
084	菅橋	56.5	I	100	35	8-50			520				520				
085	菅川橋	19.5	II	92	35	8-36			400				400				
087	奥峰3号橋	10.5	I	100	25	9-16			330				330				
088	塩沢大橋	99.2	III	22	61	1-1	80,000		28,430				3,430				主部材:1種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、舗装:打換(R6),(R7)
089	寺の沢橋	20.7	I	100	46	8-24			400				400				
090	小本沢橋	9.5	II	92	36	8-35			310				310				
091	大本沢橋	40.0	II	78	46	8-6			520				520				
092	至沢橋	19.0	II	92	46	8-13			400				400				
093	西山大橋	34.9	II	64	61	7-3			460				460				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R12)
094	うるし沢2号橋	7.4	I	100	36	8-47			310				310				
095	差渡橋	33.8	II	72	46	8-5			460				460				床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:金属溶射&モルタル補修(R15)
096	葺戸橋	20.1	I	100	35	8-51			340				340				
097	野中橋	16.8	II	96	35	8-38			390				390				舗装:打換(R15)
098	向村橋	23.8	I	100	35	8-52			370				370				
099	木山沢上橋	2.3	I	100	26	9-10		200				200					
100	池の沢橋	7.8	I	100	25	9-17		240				240					
101	権現橋	19.8	II	92	35	8-37			390				390				下部工:表面含侵&断面修復&枠組足場(R15)
102	羽黒沢橋	87.6	II	64	46	8-2			1,530				1,530				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場(R14)
103	尾骨沢橋	50.7	II	98	46	8-18			1,500				1,500				
104	奥木曾湖1号橋	16.4	I	100	41	8-32			330				330				
105	奥木曾湖2号橋	13.9	III	62	36	8-7			340	40,000			340				床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&注入&断面修復&足場(R10)
106	奥木曾大橋	184.3	II	80	41	8-11			1,620				1,620				
107	大洞橋	55.0	II	90	66	7-5			460				460				下部工:含侵&断面修復&足場(R11)
合計							120,000	42,290	86,820	77,030	40,000		7,290	21,820	12,030		
設計委託費・事業計画委託費							12,000	12,000	12,000	12,000	17,000	12,000	12,000	12,000	12,000	17,000	
総事業費							132,000	54,290	98,820	89,030	57,000	12,000	19,290	33,820	24,030	17,000	

※対象の内容・時期については、実施設計や財政状況等により予告なしに変更することがあります。

【事業費内訳】

税抜き(千円)

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	備考
点検費		7,290	13,580	11,550				7,290	21,820	12,030	
補修費											※架替費用、緊急補修費を除く
小計		7,290	13,580								

6. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

木祖村 建設水道課 電話：0264 - 36 - 2001

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

長野工業高等専門学校名誉教授 永藤 壽宮